

### 財政補給金

市町村財産補給金として  
七名の出席あり、誠に盛況で定例会に参りましたので、開會する迄梅の造花を教へました處、大喜びで御座いました。

### 内郷村報の

### 六大使命

- 一、政黨政派を超越して、村力に主眼を置く。
- 二、村内外公私各機關の活動状況を報導し、併せて其協調を計り、進取と進歩の實現を期す。
- 三、本村社會事業の徹底を期す。
- 四、村内の善事美行を表彰し、良之を獎勵す。
- 五、本村を本村出身者及本村關係者との聯絡を計り、且其發展向上を期す。
- 六、會費を以て國民義務に當る。

# 内郷村報

天法人則  
ニ從順ナ  
ルベシ

## 修養の本義は 心身の淨化にあり

大内民恵

これは九月八日安達郡百日本青年學校生徒に試みたる講演(約壹時間半)の梗概である。

予は此年になつて、始めて此題目のやうな事を考へついたのである。随つて未だ會つて、書物で讀んだ事もなく、人から聞いた事もないのである。然して又かうした事を、公會の席上で發表するのも、今日が其始めてなのである。

先づ我々の身體は何處から生れ、而してどんなものであるか、之を科學的に説明すること、我々の如きもの、到底不可能の事ではあるが、之を常識的に説明すれば、大體かういふ事になることと思ふ。  
いふ迄もなく、我々の肉體は、我々の父母の所産で

あり、其父母は四祖父母の所産であり、其四祖父母は八曾祖父母の所産であり、それより一段つゝ廻る毎に倍加して、無限に擴大して居るのである。

學者の説によると、人間が此地球上に發生してから今日迄百三十五萬年を経て居るといふことである。之が事實とすれば、我々の肉體は、それ丈の年處を経て居るは勿論、それこそ相像もつかない、無数の祖先から、遺傳せられてあるといふ事になるのである。同時に其悠久の期間、氣候風土等の如き自然的、社會國家等の如き人事的環境の、影響感化をうけ來つた事も、亦當然である。

而して上述したる、無数の祖先より遺傳せられた、

此我々の肉體の、由來系統を吟味討論すれば、其祖先の中には、申し分のない健全なるもの、若しくは種々雑多の病毒をもつた、不健全なるものがあつた事は云ふ迄もなく、又同様に其精神に於ても、申分のない立派なもの、若しくは種々雑多の缺陷をもつた、立派でないものがあつた事も、亦當然である。

之を要するに、我々の肉體と精神とは、百三十五萬年の遺傳と、其環境の影響とをうけて、今日に到つた

こゝに於いて予は、世の所謂「修養」といふもの、本義は、上述の如き由來系統を有する、肉體と精神とを、如何に養護し、如何に向上すべきかにある事であつて、其方法としては、肉體方面に於ては、生理衛生

本報發行は内郷一家の事業にして、其の財源は子孫に對する遺言を授けぬものなり。

こゝに於いて予は、世の所謂「修養」といふもの、本義は、上述の如き由來系統を有する、肉體と精神とを、如何に養護し、如何に向上すべきかにある事であつて、其方法としては、肉體方面に於ては、生理衛生

然らば之が淨化の理想と標準は、何に據るべきかと云ふ事になるのである。云ふ迄もなく其理想と標準は、予が年來唱道し來つた

八月二十三日  
小包による、ふさいふ由清にこれおくらんかあれおくらんか  
◎上野松坂屋にて 民恵

然らば之が淨化の理想と標準は、何に據るべきかと云ふ事になるのである。云ふ迄もなく其理想と標準は、予が年來唱道し來つた

## 住みよ炭礦

### 從業員大募集!

人年員 壹千名 (経験が無くても仕事が出来ます)

旅費 満十六才以上四十五才まで (身体壯健のもの)

賃金 賃金 賃金 賃金 賃金 賃金 賃金 賃金 賃金 賃金

住宅 賃金 賃金 賃金 賃金 賃金 賃金 賃金 賃金 賃金

就業場所 緩坑、住吉坑、町田坑(常磐線 緩坑下車)長倉坑(常磐線 湯本下車)

希望者は最寄職業紹介所か町村役場又は直接會社に御申込下さい

東北第一の大炭礦!!

磐城炭礦株式會社礦業所

(福島縣石城郡内郷村大字綴)

住みよ炭礦

「(二面よりつづ)」「天法人則」である。何人も此天法人則をよく研究して、各自の肉體と精神とに照らし合はせて、之に歸命し、之に準據して、其心身を淨化すべきであると思ふ。同時に我々は、身邊の自然に將た人事に、其最善を致して、より善き環境をつくるべく、努力すべきであると思はるゝのである。

天法人則の説明は、こゝに之を略するが、生理衛生も、倫理道徳も、悉く之に含まれてある事は勿論なのである。

### 國寶一佛愈々出陳

本紙既報の通り、東京帝國博物館に出陳する事になつて居つた、白水阿彌陀堂國寶五佛體中の、觀音勢至の二佛を迎ふべく、九月十二日文部省より、高橋官補澁井技手が來村したるを以て、赤土別當沼田保存會長を始め、關係者一同參堂、嚴修後青年團員之を捧持し一同之を奉送、驛驛より愈々出陳の途についた。

### 沼田村長渡鮮

張鼓峯の戰闘に於て、名譽の戦死を遂げた、故陸軍歩兵高野徳宣君の慰靈祭が在朝鮮〇〇聯隊に於て、執行せらるゝ事となつたので、沼田村長は之に參列、遺骨受領の爲遺族同伴、九月二日渡鮮の途についた。

### 國防献金

- 金參圓 拾集古ブリキ
- 白水、湯川勝雄、酒井清
- 佐々木昭二
- 金壹圓拾錢 拾集古ブリキ
- 白水、湯川勝房(十二歳)
- 金壹圓拾五錢 古ブリキ拾
- 白水、橋本吉雄(十二歳)
- 金參圓宮、竹ノ内高田ヤス
- 金參拾圓 内町 齋藤 實

### 防空訓練

防空甲地域たる本村に於ては、九月十日より開始し

矢野 恒太 大内 民 惠 著

### 教育制度改革概論

(四六版二一頁 定價五十錢 郵税六錢)

### 出征將兵各位!

内郷村長 沼田濱之助

### 小學兒童の勤勞

暑中休暇中本村小學校高等科兒童一〇一人は、新川の河川工事と磐炭の土木工事に就働、其延人員一五五人、其總收入四九〇圓二七錢、一日最高勞銀一圓二〇錢、同最低三〇錢といふ好成绩を擧げ、一般をして驚嘆せしめた。

### 岡部重役の不幸と篤志

先きに磐炭取締役岡部正樹氏の、唯一輪花の如き令嬢茂木令夫人が、一果をさへ結ぶに至らず、病魔に犯され、三十三歳を一期として、無常の風に散華、關係者一同をして、哀悼の涙をさそふたのであつたが、其七七忌にあたり、時局に鑑みて、特に清楚なる法要を營み、配物を廢して、海軍省に國防献金をし、又濱崎副所長を通じて(別項參照)我内郷村報に對して、巨額の贊助金を寄贈せられた記者は特に上京參郎、感謝の微衷を致すと共に、心から靈前に回向し、涙ながらに令夫人を(生憎重役は不在)慰藉して歸山した。

### 心身鍛練運動

其筋の通牒に基き、八月一日より二十日間、各小學校に於て、毎朝六時を期してラヂオ體操を實施したるに、左の成績を擧げた。

- 一、參加兒童延人員 六萬五千七百六十七人
- 一、參加一般延人員 五千七百七十人
- 總計 七萬一千五百三十七人

### 役場吏員更迭

書記渡邊忠義氏は、昭和三年就任以來、收入、方面事業、村報事務等に携はり郡方面委員聯合會書記をも兼任、其敏腕を認められてあつたが、今回退職して磐炭調査課に入り、曾て吏員として令名あつた、方面委員田口淳三氏、特に懇望されて、囑託として就職、主として社會事業方面の事務を擔當する事となり、同時に郡方面委員聯合會の書記をも囑託せられた。

### 磐梯山麓 勞務課 荒木 計

回願す、二十數年前、故山菊地

### 我國教育學界の概観

前京大總長小西重直博士

### 日本評論社

發行所 東京 日本評論社

### 内郷村報社

發行所 内郷 齋藤 實

◎本紙贊助金寄贈芳名  
金五拾圓 東京 岡部正樹  
金五圓 内郷 齋藤 實

發展するにつれて一層心の強さを加へて参りました。皆様御存じの金坂の蓄音器屋や、綴の山口薬局其他ラ

の娘さ...が、リヤカーを曳いて國防献金資金調達のために、ホロ屑や鐵屑などを集めて居られること

私達統後にあるものは誓つて、戦線に立つて戦ふ皆様と同じ心を以て、いよく國民精神總動員の實を發揮

**防空訓練**  
防空甲地域たる本村に於ては、九月十日より開始し

御手敷可然御取計の程奉願上候  
先は御禮券得費意度如斯に御座候  
昭和十三年八月二十二日  
濱崎善三郎様

岡部正樹 拜具

修養園 受講概録  
勞務課 荒木計  
回顧す 十数年前、故山菊地

◎本紙賛助金寄贈芳名  
金五拾圓 東京 岡部正樹  
金五圓 内郷 齋藤實

**教育制度改革概論**  
(四六版二一頁 定價五十錢 郵税六錢)

矢野恒太序 大内民憲著  
先づ論れる現代の教育制度を解體し  
て、學理と實際と、歴史と實驗とを  
ら新に大内案九主義を提唱す。天下  
知名の士の賛同枚舉に遑りず。さ  
れ未だ一人の抗議者も現はれず。

我國教育學界の執腕  
前京大總長小西重直博士  
書を寄せて曰く、多年、御禮券下實地  
ノ御試練ニ基テ、眞學界ノ大精神ヲ揮  
味仕リ不認感敬ニ行ハレ申候云々。  
發行所 日本評論社  
東京三丁目

日本評論社  
内郷村報社

**出征將兵各位!**

内郷村長 沼田濱之助

これは、沼田村長より、本村  
出身出征將兵全部におくられ  
た慰問文である。(記者)

夏も漸く老いて、すゞ虫  
の鳴く頃となりました。其  
の戦地の皆様には益々元  
氣にて、軍務に御精勵遊ば  
さるゝ事と推察致して居り  
ます。皆々様からは、度々  
愉快な御たよりを頂き乍ら  
今日迄御無沙汰に打過ぎて  
居りました。全く申譯もあ  
りません。どうぞ御容赦下  
さい。

ラデオニュースを聴いても  
映畫ニュースや新聞を見ま  
しても、皆様の事に思ひ致  
さない時とは御座いませ  
ん。苦戦の様子をおきし  
ては御無事であれかしと祈  
り、戦捷をおき、致しては  
欣喜雀躍いたしつゝ、ひたす  
ら東洋平和の一日も早く齎  
らされる日を念じて居りま  
すが、事變は意外に擴大し  
て、皆様御承知の通り、此  
處に一年有余を経過して、  
今日にいたりました。

に迫つて来て、皆様と共に  
誠に、御同慶に堪えない次  
第で御座います。是れも皆  
偏に、  
天皇陛下  
の御稜威のしからしむる所  
ではあります。また皇軍  
將士の忠勇義烈と、堅忍不  
抜のお働きの賜でありまし  
て、我等は何と言つて御禮  
の言葉を申し上げ、感謝の意  
を表はしてよいのやら、そ  
の適當な述語を知らないの  
であります。

思ふに、日本が、今度の  
事變は、日清、日露の戦争  
のあとをついて、東洋永遠  
の平和を安定するための戦  
であります。即ち、日本が  
朝鮮を併合し、滿洲國建設  
に多大の犠牲を拂つた目的  
は、今度の此の事變に成功  
してこそ初めて達せられ、  
我國が理想とする所の東洋  
永久の平和、引いては世界  
人類の安寧と幸福とが約束  
されるものと信じて居るの  
であります。今なほ、蔣介石  
の所謂長期抗戰の陰には二  
三の強國の觸手が動いて居  
るのであります。此處に  
事局の重大性が存在するの  
であります。されど我等村  
民一同は、事變此の方一日  
一日と益々緊張し、戦局の

發展するにつれて一層心の  
強さを加へて参りました。  
皆様御存じの金坂の蓄音器  
屋や、綴の山口薬局其他ラ  
ヂオのあるところの家々の  
前には、ニュースを聴かう  
とする人達でいつも黒山の  
様です。中には田から上  
つたお百姓さんなどが、泥  
手をさげて、晝食を忘れて  
一生懸命に聴き入つて居る  
状況であります。其他、各  
種団体の銃後活動も近頃一  
層目立つて来た様です。此  
の間は、淺野翁頌徳記念館  
に於て、國防婦人會、愛國

の娘さ、どが、リヤカー  
を曳いて國防献金資金調達  
の爲にとて、ボロ屑や鐵屑  
などを集めて居られること  
です。殊にお傳へ致したい  
事は、我村に享樂的な流行  
歌が聲をひそめて、軍歌が  
之に代りましたのを初め戦  
時色が濃厚となつて、お互  
自戒自肅する様になつた結  
果「戦地の事を思へば」と  
か「戦地の兵隊さんを想へ  
ば」といふ新流行語が生れた  
ことです。それから内町小  
學校の西側の田圃に廣大な  
炭礦の長屋が出来て非常  
ににぎやかになりましたし  
又炭礦の病院を今度新築す  
るとかにて内町の前田の山  
を毎日切り崩して居ります  
から間もなく見違へる様な  
立派なものが出来る事と  
思ひます。

私達銃後にあるものは誓つ  
て、戦線に立つて戦ふ皆様  
と同じ心を以て、いよく  
國民精神總動員の實を發揮  
して、如何なる困難に出會  
ふとも、敢然立つてそれを  
突破し、未曾有の時艱を克  
服し、聖戰の目的を達成し  
東亞の空高く平和の光の輝  
く日となさんと覺悟して居  
ります。どうぞ皆様、決し  
て銃後は御心配なく御元氣  
で御奮闘下さる様御願ひ致  
します。

かの名將軍謙信は「野伏  
する鎧の袖も楯の端もみな  
白妙のけさの初雪」と歌つ  
て、秘かに想ひを故郷に寄  
せたこと云ふことですが、勇  
士の皆様にも必ずや、露營  
の夢には、遠く故山に飛ぶ  
ことせう。しかしどうぞ  
御安心下さい。どの田にも  
青々と稲は伸び、何處の家  
々にも、緊張味が満ちて整  
然として居りますから。  
今や、事變は、進展又進  
展、加ふるに國際情勢又樂  
觀視得ざるものあります

終りに皆様の御勞苦を謝  
すと共に、武運長久をお祈  
りしつゝ、擱筆いたします  
別紙小冊子を御送りいたし  
ますから御覽下さい。

**◎急 告**

畑雜地租の納期限は本月二  
十五日ですから、御忘れな  
く御納め下さい。

婦人會、女子青年團の手に  
なる、出征軍人遺家族慰安  
大會が開催されましたが、  
それ以來名歌手として評判  
を取つた社宅のお嬢さんも  
あれば、踊りの名手として  
名聲を博した商家、農家の  
中年婦人等々あり、來賓一  
同をして「皆相當なものだ  
」との賞讃を得て、滿堂破  
れる様な盛會でありました  
先月は、男子青年團員の方  
々が、高坂學校の校庭に土  
砂運搬の共同奉仕作業など  
も行はれた様です。特に嬉  
しい事には、恥かしい盛り

**各種車輛と蓄音器**

- 一、自動車(乗用車) 四臺
- 一、トラック 四臺
- 一、自動車(自家車) 二臺
- 一、自轉車 一〇〇〇臺
- 一、リヤカー 二五〇臺
- 一、荷馬車 一三臺
- 一、小車 二一臺
- 一、自動自轉車 五臺
- 一、蓄音器 四九一臺
- 一、電氣蓄音器 九臺

